（別紙）　令和4年度　学校の自己評価に対する関係者評価

4…適切である　3…概ね適切である　2…適切でない部分が目立つ　1…根本的な改善が必要

	No.	項目	R4後期	差	R4前期	学校の総合評価		学校の自己評価をご覧になり、何か気づかれたことがありましたらご記入ください。
小中連携防災教育	1	東中が防災教育の拠点校という自覚を持ち、「自助」「共助」「危険予測」「危険回避」等の言葉を使って指導にあたっている	3.3	0.0	3.3	◎	◎	○年度を重ねるごとに防災教育のレベルアップしているのがよく伝わってきます。先生方のレベルアップが生徒たちへしっかり伝承され表彰に続いたのだと思います。 ○独自の防災教育や校内の掲示物などにより、非常に高い意識をもった人材を育成できていると思います。東中で卒業した後での意識や知識は定着しており、日常生活の中で活かされているようです。 ○防災拠点にある学校として意識をもって取り組んでいただき、本当に感謝しています。有事の際には新宮町の住民の方々に東中で学んだ日頃のスキルを発揮してほしいです。 ○防災教育で県から表彰をいただいて、とても素晴らしいことだと思います。新宮町民として誇りに思います。体育会での防災リレーなどぜひ見に行きたいと思いました。 ○これからも防災教育の拠点校として、教育活動を続けていただきたいなと思っています。「防災教育の視点教科横断的な教育活動を計画し、実践しようとしている」が特に数値も上がっており、先生方の意識の高さも感じられます。 ○本町の防災活動拠点である「新宮ふれあいの丘公園」に隣接する新宮東中学校であるからこそできる「独自の防災教育」を今後も行ってください。また、各行政区で行われる「避難訓練」「防災研修」などの防災に関する取組には東中の生徒が率先して参加し、区民のお手本になれるように学習してほしいです。
	2	学校のすべての教育活動で自分の身を守り、生徒の安全に対応するようにし、危機管理マニュアルの場所を把握している。	3.0	0.0	3.0	○		
	3	ホームページや新聞記事等最新の情報を取り入れて、指導に役立てている。	3.3	0.2	3.1	◎		
	4	通信等で「自助」・「共助」・「危険予測」・「危険回避」などのキーワードを使い、安全文化を大切にする意識を高めている。	3.1	0.1	3.0	○		
	5	防災教育の視点で教科横断的な教育活動を計画し、実践している。	3.4	0.4	3.0	◎		
	6	避難訓練に真剣に取り組み、生徒とともにノンテクニカルスキルを高めている。	3.7	0.1	3.6	◎		
	7	教科指導の中で、「自助」「共助」の力を育むよう努力している。	3.6	0.2	3.4	○		
人権・同和教育	8	生徒の実態や生活背景をつかんだ指導を実践し、一人一人を大切にした指導をしている。	3.8	0.3	3.5	◎	◎	○人権・同和教育については、年々多種多様な問題対応が求められ、先生方も大変だと思います。多様性を理解し、認め合い、受容しながら協働する教育活動まで「質的」に到達できるようがんばってください。 ○生徒の皆さんは、困っている人をみたら「大丈夫ですか？」「何かお手伝いしましょうか？」など声かけし、誰でもどんな場合でもできるように成長しています。しかし、生徒一人一人が、困ったときはいつでも遠慮せずに「助けてください」と声をだしてほしいです。 ○校内身だしなみ検討委員会による見直し審議の運営等を拝見、拝読すると、非常に高い自治レベルにあると感じます。このような活動が多様性を認め、協働できる人財育成につながるのだと思います。 ○人権については、子どもたちの意識が高いと思います。先生方の行動が意識を高めていると思います。 ○多様性が大切な今、先生方もさまざまな勉強していることと思います。その自信と結果が総合評価にもあらわれており、素晴らしいなと思いました。 ○黒板アートで、一人一人の活躍があったことが想像できました。一人一人を大切にする指導が「3．8」とする先生方の自信が伝わり、とても素敵だと感じました。 ○先生方が生徒一人一人を見て、大切にしておられることが伝わります。道徳の教科横断的な取組が素晴らしいと思います。 ○質的に到達していないとありましたが、目標が高いから届いていないのだと思います。先生方の意識の高さを感じます。
	9	生徒との信頼関係を築くために、カウンセリングマインドを大切にした教育相談を行っている。	3.7	0.2	3.5	◎		
	10	多様な学びの必要性に応える個別最適化された学び（オンラインなど）を提供している。	3.5	0.1	3.4	○		
	11	道徳は人権の視点から学活や社会科の授業と絡めて教科横断的に取り組んでいる。	3.4	0.3	3.1	◎		
	12	いじめゼロ宣言やサミット共同宣言、学級の漢字一文字を意識して教育活動を行っている。	3.1	0.1	3.0	○		
	13	人権の日の放送や生徒会で決まった人権啓発活動を積極的に指導・支援している。	3.4	0.2	3.2	◎		
	14	多様性を理解し、認め合い、受容し合いながら、協働して教育活動を行っている。	3.6	0.1	3.5	◎		
学びの共同活動	15	教科担任として学習の規律（チャイム席・黙想・挨拶・姿勢等）を指導している。	3.8	0.2	3.6	◎	◎	○コロナ禍の制限がある中で、様々な工夫を凝らした学習活動には、頭が下がります。AIドリルの計画的な活用に期待いたします。 ○見る力、聞く力、注意力などをつけ、さらに認知機能を高める「コグトレ」を子どもたちにも普段から取り入れていることに新しい取組を感じました。選択式問題での無解答率が高い理由を解明していただきたいと思います。 ○コロナの影響で指導のやり方を活動の形が難しく、大変ご苦労されていることと思います。課題に向けて引き続きご指導をお願い致します。 ○規律について「3．8」となっているところに統一されたご指導のすばらしさを感じました。また家庭学習に「書く活動」を10分取り入れている取組は小学校でもぜひ参考にさせていただきたいです。 ○今後も授業改善を行い、子どものレベルを向上させてください。 ○授業改善において先生方の取り組みの真剣さや努力の結果が、どの項目よりも一番優れていると感じました。授業への先生方の意識の高さが生徒のたちの学習意欲につながっているのではないかと思います。 ○コの字型の学習形態の復活がとてもうれしく思いました。わが子が在籍しているときに、とても成果が出ていて、授業に活気が出る方法だと思うので、これからの一人一人の実力アップに期待が持てます。 ○県平均での比較で見ても新宮東中学校では高いレベルで授業が行われていることがわかります。地域に支えられている所もあると思いますが、先生方の日々の研鑽の結果だと思っています。県トップをめざしてがんばってください。
	16	効果的な板書や発問の計画など適切に準備を行ってから授業を実践している。	3.5	0.4	3.1	◎		
	17	「粘り強くやり抜く」ことを意識し、授業中に5分、家庭学習で10分の書く活動を取り入れている。	3.3	0.3	3.0	○		
	18	挑戦の問題を定期考査で作成し、考査の問題を通して授業改善を図っている。	3.4	0.1	3.3	○		
	19	妥当性と客観性のある学習評価を行い、学習者が自信と意欲を高めるよう努力している。	3.4	0.2	3.2	◎		
	20	互恵関係のある親和的なペア活動、少人数活動を行うよう学習形態を工夫している。	3.5	0.3	3.2	◎		
	21	生徒の学習内容のまとめ、目的・方法の振り返りを実践している。	3.3	0.2	3.1	○		
生徒会活動・CS活動	22	生徒会活動（委員会活動）において生徒の参画意識や自主性を高めるよう援助している。	3.4	0.2	3.2	◎	◎	○COVID-19状況下で、各行政区の夏祭り、花火大会などが実施できなかったのが残念です。今年度は2年生を中心に「認知症介護サポーター養成講座」を開いて共有できました。高齢者や認知症の方やご家族に優しい町―新宮町―新宮東中校区は、認知症に優しい地域だけでなく、思いやりや声かけ、やさしさに包まれた地域です。今後も継続よろしくお願いします。 ○コロナ禍で生徒たちの活動が制限されて自分自身も非常に悔しい気持ちでいっぱいです。来年度はWithコロナで生徒たちが学校行事・地域行事に参加できる機会が増えることを願います。 ○新宮町チャレンジ議会の生徒の堂々とした発言は素晴らしかったです。大人も見習う点が多くあると思いました。生徒会の皆さんの感想とてもしっかりしていて素晴らしいです。 ○残食ゼロの項目が「3．7」と高いところに中学校でのご指導が浸透していることがわかります。小学校でも残食ゼロをめざしていきたいです。 ○地域に愛着を持ち、地域の役に立とうとする取組を積極的にしていただき、とてもうれしく感じます。私も地域の一員として多くの場で、新宮東中学校の皆さんと関わっていけることを楽しみにしています。東中の竹灯籠、とても素敵でした。 ○思春期の多感なこの年齢の時に、体感し、感動や達成感を味わうことのできる経験は、学習よりもむしろ大切で、将来力強く生きていくためにすごくありがたいことだと思います。 ○毎日登校している生徒の笑顔を見るだけで安心・安全で心が安らげる場になっているのだとわかります。東中が在校生や保護者卒業生や地域に誇れる学校であってもらいたいです。
	23	生徒会の掲げるスローガンを意識して生徒の主体的な活動になるよう、生徒会活動を支援している。	3.3	0.3	3.0	○		
	24	（東中生の矜持として）進んであいさつを行い、地域の方にさわやかに接するよう指導している。	3.5	0.0	3.5	◎		
	25	（未来人財として）生徒にマナー・モラル等、適切な言語文化、規範意識を高める指導を心がけている。	3.5	0.0	3.5	◎		
	26	生徒も教師も地域に愛着をもち、地域の役に立つ喜びを実践している。	3.3	0.2	3.1	○		
	27	時間を守ることや、身の回りの整理・整頓など基本的生活習慣の指導を徹底している。	3.6	0.1	3.5	○		
	28	給食をバランスよく食べる活動を推奨し、残食0をめざすよう努めている。	3.7	0.0	3.7	◎		
異学年ブロック活動	29	ブロック活動に積極的に取り組み、縦と横のバランスのよい繋がりを意識して指導にあたっている。	3.4	0.2	3.2	◎	○	○互いが切磋琢磨し、尊敬し合える、認め合う活動になっていると思います。クラスや学年の枠を超えて声かけができる関係性が生まれていると思います。 ○「ひがし竹灯籠祭り」を今後も継続してください。続けられる伝統ができたと思います。教室ごとの「黒板アート」絵画も楽しく鑑賞させていただきました。 ○異学年ブロック活動はとてもよい活動だと思います。私は立花小出身です。立花小は日々の学校生活の中で自然と異学年活動していたかと思います。その経験が社会に出てから大いに役立ちました。東中でも継続して行ってください。 ○リーダーになったときの心構えや、リーダーに協力し、思いやる気持ちがはぐくまれ、社会でも大変役に立つことだと思います。 ○不登校・いじめ問題と、難しい問題だと思いますが、ブロック活動を中心に今後も素晴らしい学校づくりをお願いいたします。 ○未然防止としての家庭との連携が大切になってくると思います。保護者との安心感、信頼感がもてるような連携をお願いします。 ○他の学校ではあまり聞くことのない異学年ブロック活動、社会に出たらさまざまな年齢の人とのつきあいが必要なので、ここでの経験はとても必要でありがたい取組です。 ○中学校の縦と横のつながりのすばらしさを感じています。少し評価が低めなのは新型コロナの影響でしょか。小学校のうちから人間関係づくりについてあたたかく支え合うことを経験させておきたいと再確認しました。
	30	自己有用感を実感し、協働性を育むためにブロック黙働掃除に積極的に取り組んでいる。	3.7	0.2	3.5	◎		
	31	不登校の未然防止のため、他の職員と情報を共有し、家庭との連携を図っている。	3.4	−0.1	3.5	○		
	32	いじめの未然防止・早期発見に積極的に取り組んでいる。	3.7	0.2	3.5	◎		
	33	リレーション活動を計画的に行い、生徒の人間関係づくりに努力している。	3.2	0.0	3.2	○		
	34	粘り強く最後までやりとげる精神性をブロック活動の中で発揮できるよう主体的に支援している。	3.3	0.1	3.2	○		
	35	異学年ブロック活動を通して、生徒の自己有用感を実感させる声かけをするように働きかけている。	3.3	0.1	3.2	○		

誠に恐れ入りますがこの用紙を返信用封筒に入れてポストに投函していただくか、学校へＦＡＸしてくださいますようお願いいたします。令和５年２月３日（金）まで集約させていただきたいと思いますのでご協力をお願い申し上げます。